

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	神姫バス株式会社
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	<p>光化を促進することで、企業活動や住民生活に好影響があり、地域経済が活性化することは、大変ありがたいことである。</p> <p>ただ、設備を整えるということだけでなく、もう少し官民一体で実際の利用形態を議論し、ユーザーニーズに沿って整備していくべきであると考えます。</p> <p>仮に2015年までに光を整備する方向で強引に進めると、利用意向のない人も含めて対応が必要となり、想定していないものを含め様々なコストが利用者の負担となっていくのではないかと危惧しているところである。</p>
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	